

全体結果

調査全体 サンプル **1,350** 名 平均点 **78.9** 点/81点中
正答率 **97.4** %

各設問結果

大問番号	問題番号	指導要領外	問題と正答	調査全体誤答			調査全体の主な誤答例 ()は発生件数
				正答率	誤答率	無答率	
1	1		4×3=12	96.1%	3.6%	0.4%	21(12)、24(9)、14(7)、6(5)、27(4)、7・16(3)
	2		6×7=42	93.9%	5.5%	0.7%	48(23)、49(16)、56(9)、54・63(4)、24(3)
	3		9×2=18	98.7%	0.7%	0.5%	—
	4		3×8=24	96.0%	3.2%	0.8%	27(15)、21(9)、64(5)、28(3)
	5		5×5=25	99.1%	0.4%	0.4%	35(3)
	6		7×4=28	92.9%	6.2%	0.9%	24(23)、32(18)、21・27・36・56(4)、14・49・63(3)
	7		3×9=27	96.0%	3.4%	0.6%	24(15)、21(9)、36(4)
	8		4×1=4	99.5%	0.2%	0.3%	—
	9		6×6=36	98.2%	1.4%	0.4%	42(5)
	10		1×9=9	99.6%	0.1%	0.3%	—
	11		7×8=56	95.1%	4.0%	0.9%	32(13)、42・48・49・54(4)、64(3)
	12		4×2=8	97.6%	2.1%	0.3%	14(20)、16(4)
	13		7×1=7	99.6%	0.2%	0.2%	—
	14		5×4=20	98.4%	1.2%	0.4%	—
	15		9×6=54	98.1%	1.5%	0.4%	30(3)
	16		1×3=3	99.6%	0.2%	0.2%	—
	17		6×1=6	99.6%	0.2%	0.2%	—
	18		7×3=21	94.7%	4.7%	0.6%	24(30)、27(11)、28(5)、18(4)
	19		9×9=81	99.3%	0.5%	0.2%	—
	20		2×4=8	98.2%	1.4%	0.4%	14(9)、6(3)
	21		8×3=24	94.2%	5.1%	0.7%	21(32)、27(13)、18(8)、28(7)
	22		4×9=36	96.3%	2.9%	0.8%	32・63(8)、27(5)、18(3)
	23		1×1=1	99.1%	0.6%	0.3%	2(5)
	24		3×6=18	98.0%	1.6%	0.4%	27(4)、17(3)
	25		9×7=63	97.8%	1.5%	0.7%	72(4)、35・42(3)
	26		5×2=10	99.4%	0.4%	0.2%	—
	27		8×7=56	94.7%	4.4%	0.9%	49(9)、42(7)、48(5)、52・54(4)、32(3)
	28		3×2=6	99.0%	0.8%	0.2%	—
	29		4×7=28	93.3%	6.0%	0.7%	24(27)、32(10)、14(5)、48・63(4)、27・30(3)
	30		9×3=27	95.1%	4.4%	0.4%	24(33)、21(11)、18(3)
	31		1×5=5	99.5%	0.3%	0.2%	—
	32		7×9=63	97.9%	1.6%	0.6%	35・36・49(3)
	33		5×3=15	98.4%	1.3%	0.3%	—
	34		1×8=8	99.5%	0.2%	0.3%	—
	35		2×7=14	97.2%	2.4%	0.4%	16(8)、12・28(4)、18(3)
	36		9×5=45	98.0%	1.7%	0.3%	40(10)
	37		4×8=32	94.4%	4.8%	0.7%	56(14)、16(9)、24(8)、36(7)、22・28・48・72(3)
	38		1×2=2	99.3%	0.3%	0.4%	—
	39		5×9=45	98.0%	1.6%	0.4%	54(7)、40(4)
	40		7×5=35	97.3%	2.3%	0.4%	30・40(8)、63(3)
	41		9×8=72	97.2%	2.2%	0.6%	42(3)、40・48・63(3)
	42		4×6=24	93.3%	5.8%	0.9%	12・54(15)、28(11)、27(6)、36(4)、21・26・42・48(3)
	43		2×3=6	98.8%	0.8%	0.4%	12(5)
	44		8×5=40	98.2%	1.2%	0.7%	35(5)、30(3)
	45		6×2=12	97.7%	1.8%	0.5%	14(10)、16・18(3)
	46		3×7=21	96.2%	3.2%	0.7%	24(14)、27(10)、12・42・56(3)
	47		5×1=5	99.6%	0.0%	0.4%	—
	48		7×7=49	93.9%	5.3%	0.9%	28(13)、56(12)、42(11)、14・48(4)、50(3)
	49		4×5=20	97.8%	1.8%	0.4%	35(8)、25(4)、45(3)
	50		1×6=6	99.6%	0.0%	0.4%	—

大問番号	問題番号	指導要領外	問題と正答	調査全体誤答			調査全体の主な誤答例 ()は発生件数
				正答率	誤答率	無答率	
1	51		2×8=16	97.5%	2.0%	0.5%	14(11)、32(4)、18(3)
	52		6×4=24	95.1%	3.8%	1.1%	28(9)、27・32・54(5)、12・36(3)
	53		8×9=72	97.4%	1.9%	0.7%	63(6)、42(4)
	54		3×5=15	99.0%	0.4%	0.5%	—
	55		9×1=9	99.3%	0.2%	0.5%	—
	56		4×4=16	97.3%	2.2%	0.6%	8(9)、18(6)、36(5)、14(3)
	57		2×6=12	97.2%	2.3%	0.5%	14(20)、16(3)
	58		8×2=16	96.0%	3.4%	0.6%	14(27)、12(10)、18・32(4)
	59		6×8=48	91.8%	7.3%	1.0%	42(44)、56(11)、40(8)、49(6)、46・54(5)、72・78(3)
	60		2×1=2	99.5%	0.0%	0.5%	—
	61		5×7=35	97.9%	1.6%	0.5%	63(8)、40(3)
	62		8×8=64	98.1%	1.2%	0.7%	54・56(3)
	63		3×4=12	96.0%	3.4%	0.6%	24(15)、21(9)、14(8)、27(5)
	64		9×4=36	97.9%	1.4%	0.7%	32(3)
	65		6×5=30	97.3%	2.1%	0.6%	35(12)、45(5)、36(4)
	66		2×2=4	98.8%	0.7%	0.5%	2(3)
	67		7×6=42	93.0%	6.1%	0.9%	48(36)、49(10)、24・56(5)、41(4)、6・54・72(3)
	68		8×1=8	99.1%	0.3%	0.6%	—
	69		3×3=9	98.8%	0.7%	0.5%	6(5)
	70		5×8=40	98.4%	1.0%	0.5%	72(4)
	71		1×7=7	99.3%	0.2%	0.5%	—
	72		2×5=10	99.3%	0.2%	0.5%	—
	73		8×4=32	95.3%	4.2%	0.6%	24(16)、36(8)、16(7)、12・28(4)
	74		3×1=3	99.0%	0.4%	0.5%	8(3)
	75		6×9=54	97.9%	1.3%	0.8%	56(4)、69(3)
	76		1×4=4	99.4%	0.1%	0.5%	—
	77		5×6=30	98.4%	1.0%	0.6%	36(7)
	78		2×9=18	99.0%	0.4%	0.7%	—
	79		8×6=48	90.1%	9.0%	0.9%	42(79)、49(7)、56(6)、40・46(4)、24・72(3)
	80		7×2=14	97.1%	2.3%	0.6%	16(15)、12(7)、8(4)
	81		6×3=18	96.9%	2.5%	0.6%	24(15)、21(4)、28(3)

<指導要領内>誤答率の高かったもの

順位	問題番号	問題と正答	誤答率(%)
1	79	8×6=48	9.0%
2	59	6×8=48	7.3%
3	6	7×4=28	6.2%
4	67	7×6=42	6.1%
5	29	4×7=28	6.0%
6	42	4×6=24	5.8%
7	2	6×7=42	5.5%
8	48	7×7=49	5.3%
9	21	8×3=24	5.1%
10	37	4×8=32	4.8%
11	18	7×3=21	4.7%
12	30	9×3=27	4.4%
	27	8×7=56	4.4%
14	73	8×4=32	4.2%
15	11	7×8=56	4.0%

■かけ算の誤答傾向

- ①前後の九九と混同しているケースが見られる。
 - かけられる数を前後のものともまちがえる
例) 6×7で49(7×7とのまちがい) など
 - かける数を前後のものともまちがえる
例) 6×7で48(6×8のまちがい) など
- ②似ている音の九九のまちがいが多い。
 - 4(し)と7(しち)のまちがい
例) 4×2で14(7×2とのまちがい) など
 - 7(しち)と8(はち)のまちがい
例) 8×6で42(7×6とのまちがい) など
- ③正確に九九が覚えきれていない。
 - ±1のまちがい
例) 6×8で47、49など
 - 誤答率が比較的高めで、誤答例多数のもの
- ④交換法則の成り立つ関係の九九をセットでまちがえる。
例) 6×7、7×6をどちらも48とするなど
- ⑤交換法則の成り立つ関係の九九の一方をまちがえる。
例) 6×8は正解だが、8×6は42など

分析と考察

※かけ算(九九)は、全体の正答率が97.4%であり、2年生の学習指導要領内の計算力は良好と言える。
 ※誤答の多くは、覚えきれていないのではなく、他の九九との混同である。
 ※1年生同様、7・8の絡む計算で誤答が多くなっている。7・8という数は子どもにとってハードルの高い数と言えそう。

小学生の計算力に関する実態調査

※追加調査として、東京都内の小学校14校の新3年生を対象に4月に別途実施。

2年生の結果

全体結果

調査全体 サンプル **1,027** 名 平均点 **18.5** 点/20点中
正答率 **92.7** %

各設問結果

大問番号	問題番号	指導要領外	問題と正答	調査全体誤答			調査全体の主な誤答例 ()は発生件数
				正答率	誤答率	無答率	
1	1		24+31=55	98.6%	1.3%	0.1%	65(6)
	2		37+28=65	95.8%	3.9%	0.3%	55(10)、63(7)、64(7)、66(3)
	3		43+72=115	95.4%	4.3%	0.3%	125(14)、135(6)、105(4)、16(3)、25(3)、105(3)
	4		76+58=134	90.6%	8.7%	0.7%	124(41)、132(6)、144(6)、114(6)、133(4)、136(4)、84(4)、135(4)
	5		46+57=103	95.2%	4.1%	0.7%	93(12)、104(8)、102(6)
	6		17+83=100	96.8%	2.7%	0.5%	90(10)、101(5)
	7		54+55=109	95.4%	4.0%	0.6%	119(18)、110(4)、99(3)、108(3)
	8		9+37=46	96.0%	3.2%	0.8%	40(4)、44(3)、47(3)、48(3)、36(3)、146(3)
2	1		39-15=24	97.5%	2.4%	0.1%	14(6)、54(5)、44(5)
	2		45-18=27	92.2%	7.6%	0.2%	33(15)、47(14)、28(9)、37(7)、17(6)、23(6)、63(5)、22(5)
	3		45-38=7	92.8%	6.7%	0.5%	13(13)、83(7)、3(7)、8(6)、17(6)、2(4)、6(3)、27(3)
	4		40-16=24	92.9%	6.7%	0.4%	36(33)、26(12)、34(12)、4(4)、56(4)、44(3)、25(3)、30(3)
	5		45-8=37	93.4%	5.9%	0.7%	43(12)、38(7)、47(7)、7(7)、33(4)、53(4)、35(3)、32(3)、27(3)
	6		129-53=76	91.6%	7.6%	0.9%	66(19)、77(8)、56(6)、136(5)、71(4)、72(3)、26(3)
	7		102-65=37	85.7%	13.6%	0.8%	47(58)、67(13)、27(8)、43(8)、33(6)、57(6)、7(5)、137(5)、35(5)、38(3)
	8		100-8=92	93.8%	5.7%	0.5%	2(25)、108(7)、102(4)、98(4)、82(3)
	9		100-39=61	89.0%	10.3%	0.7%	71(40)、139(8)、31(7)、51(6)、161(5)、79(5)、60(4)、81(4)、1(4)、11(3)
	10		100-96=4	90.3%	9.1%	0.6%	14(36)、94(8)、196(7)、3(5)、96(5)、16(5)、104(4)
	11		146-89=57	84.4%	14.8%	0.9%	67(46)、17(28)、55(8)、7(7)、47(6)、53(6)、63(5)、87(3)、11(3)
	12		113-65=48	84.6%	14.2%	1.2%	38(44)、58(32)、68(10)、8(5)、47(5)、78(4)、42(4)、168(4)、49(3)、52(3)、43(3)、45(3)、152(3)

〈指導要領内:たし算〉誤答率の高かったもの

順位	問題番号	問題と正答	誤答率(%)
1	1(4)	76+58=134	8.7%
2	1(3)	43+72=115	4.3%
3	1(5)	46+57=103	4.1%
4	1(7)	54+55=109	4.0%
5	1(2)	37+28=65	3.9%
6	1(8)	9+37=46	3.2%
7	1(6)	17+83=100	2.7%
8	1(1)	24+31=55	1.3%

■たし算の誤答傾向

- 1の位にくり上がりがないのにくり上げてしまった。(正答+10の誤答)
- くり上がりを忘れている。(正答-10の誤答)
- 1年生のくり上がりのあるたし算のミス。(十の位はあっているが1の位がまちがえている)
- くり上がりのミスもしくは十の位のくり上下のミス。(十の位の値が違う)

〈たし算の型による誤答率の違い〉

- もともと誤答率が高いのは (何十何)+(何十何)=(百何十何)でくり上がり2回あるもの
- 2番目は(何十何)+(何十何)=(百何十何)でくり上がり1回のもの
- 3番目は(何十何)+(何十何)=(百いくつ)でくり上がり2回あるもの
- くり上がり2回あるもの、十の位にくり上がりがあるもので誤答率が高くなっている。

〈指導要領内:ひき算〉誤答率の高かったもの

順位	問題番号	問題と正答	誤答率(%)
1	2(11)	146-89=57	14.8%
2	2(12)	113-65=48	14.2%
3	2(7)	102-65=37	13.6%
4	2(9)	100-39=61	10.3%
5	2(10)	100-96=4	9.1%
6	2(2)	45-18=27	7.6%
	2(6)	129-53=76	7.6%
8	2(3)	45-38=7	6.7%
	2(4)	40-16=24	6.7%
10	2(5)	45-8=37	5.9%
11	2(8)	100-8=92	5.7%
12	2(1)	39-15=24	2.4%

■ひき算の誤答傾向

- くり下がりがなくくり下げてしまった。(正答-10)
- くり下がりを忘れている。(正答+10)
- 1年生のくり下がりのあるひき算のミス。(十の位はあっているが1の位がまちがえている)
- 1の位・十の位を逆にひき算、またはくり上下のミス。(45-18=33など)
- ひき算なのにたし算をしてしまった。

〈ひき算の型による誤答率の違い〉

- もともと誤答率が高いのは (百何十何)-(何十何)=(何十何)でくり下がりが2回あるもの
- 2番目は(百いくつ)-(何十何)=(何十何)でくり下がり2回でひかれる数の十の位が空位のもの
- 3番目は(百)-(何十何)=(何十何)でくり下がりが2回あるもの
- くり下がりが2回あるもの、ひかれる数に空位のあるものが誤答率が高くなっている。

分析と考察

- ※全体では90%以上のできて、2年生の指導要領内の計算力は良好と言える。
- ※ひき算はたし算に比べて誤答率が高く、ひき算が苦手な傾向が見られる。
- ※誤答の多くは、くり上がり・くり下がりに絡むものである。
- ※1年生の計算の未定着によるミスも、若干見られた。